

## 5大学研究室合同説明会

お台場の連携大学院CBRCで学ぶバイオインフォマティクス

5月15日、CBRCで学生を受け入れている研究室(お茶の水女子大学、東京大学、東京医科歯科大学、奈良先端科学技術大学院大学、早稲田大学)の合同説明会を行いました。大学院入試を考えている方に向け、お台場における学生生活や研究施設の紹介をしました。

## 第9回 国際バイオEXPO

6月30日～7月2日、東京ビッグサイトで開催された第9回国際バイオ EXPO 併催の国際バイオ EXPO 大学・国公立研究所による研究成果発表フォーラムに出展いたしました。5名の研究者が口頭発表を行い、ブースにも多くの方にお立ち寄りいただきました。

【発表者】

- ・野口 保 (主幹研究員)  
「タンパク質発現・可溶性予測法の開発」
- ・諏訪 牧子 (主幹研究員)  
「ゲノム情報から探る GPCR の立体構造空間」
- ・福井 一彦 (分子機能計算チーム 研究チーム長)  
「ライフサイエンス統合 DB : 情報統合基盤技術を用いたワークフロー開発」
- ・広川 貴次 (創薬分子設計チーム 研究チーム長)  
「ケミカルバイオロジー PJにおけるインシリコ解析の役割」
- ・藤淵 航 (細胞機能設計チーム 研究チーム長)  
「細胞形態と遺伝子ネットワークによる細胞状態解析の最先端」

## ISMB2010

18th Annual International Conference on Intelligent Systems for Molecular Biology

International Society for Computational Biology (ISCB) の年会である ISMB2010 が、7月11日～13日に米国マサチューセッツ州ボストンで開催され、CBRC はゴールドスポンサーとして参加しました。CBRC からは Technology Track (口頭発表) を 2 件、ポスター発表を 7 件 (共同研究員等によるもの含む) 行いました。

【ポスター発表】

- ・本野千恵 "SAHG: Structural Atlas of Human Genome"
- ・寺井悟朗 "Prediction of microRNA precursor hairpins with improved sensitivity and specificity"
- ・マイケル・グロミハ "Comparative analysis of binding site residues and recognition mechanisms of protein-protein and protein-RNA complexes using energy based approach"
- ・ポール・ホートン "Improved Prediction of Transcription Binding Sites from Chromatin Modification Data"
- ・清水佳奈 "Developing an exact method to find similar pairs with small edit-distance"
- ・浜田道昭 "Centroid series: fundamental programs of sequence analysis for non-coding RNAs"
- ・佐藤健吾 "RactIP: fast and accurate prediction of RNA-RNA interaction using integer programming"

【Technology Track (口頭発表)】

- ・マイケル・グロミハ、本野千恵 "Challenging algorithms and comprehensive databases in protein structure and function."
- ・ポール・ホートン、浅井潔 "Software for RNA and Next-gen Sequencer Analysis."

## 長尾真記念特別賞を受賞

(社) 情報処理学会は、情報処理の学術・技術にかかわる分野でその研究開発に特に顕著な貢献が認められ、今後の進歩、発展が期待される 39 歳までの研究・開発者を顕彰するため「長尾真記特別賞」を授与しています。この度、平成 21 年度の同賞に、CBRC 機械学習研究班 主任研究員の津田宏治が選ばれました。

津田主任研究員は、複雑な構造データ中の多頻度部分構造の列挙アルゴリズム研究と、構造カーネル関数を用いた分類手法とを統合し、複雑な構造データの詳細な分類を可能にする統合的パラダイムを提供した等、機械学習及びデータマイニング研究の核心において、学術的に多大な貢献を行い世界的に高い評価を得ていることが評価され、表彰状および賞金が授与されました。

## 受講者募集

CBRC の生命情報科学人材養成コンソーシアムでは、バイオインフォマティクス・創薬インフォマティクスの講習会や、e-ラーニングを実施しています。

バイオインフォマティクス e-ラーニングコースは、バイオインフォマティクス認定試験の試験範囲に対応した講義ビデオを 20 コマ (1 コマ 90 分)、また、新設の創薬インフォマティクス e-ラーニングコースでは、基礎を網羅した内容を 9 コマ用意しています。1 人 1 台の PC を用いて基礎から実践まで学ぶバイオインフォマティクス実習コースはカリキュラムを刷新、テーマ単位で受講可能となって 10 月より開催いたします。

また次回の創薬インフォマティクスコースは 2011 年 2 月に産総研関西センター (大阪府池田市) で開催する予定です。

受講者募集は開講日の 1 週間前までです。詳しくはホームページ (<http://training.cbrc.jp/>) をご覧ください。

## 人事異動

【退職】

- 5/31 付 ・Raymond Wan (配列解析チーム産総研特別研究員)  
→協力研究員 (6/1 付)
- ・Edward Wijaya (配列解析チーム産総研特別研究員)  
→協力研究員 (6/1 付)

・水谷健太郎 (センター付テクニカルスタッフ)

6/30 付 ・廣瀬修一 (センター付産総研特別研究員)→協力研究員 (7/1 付)

7/31 付 ・横田恭宣 (センター付産総研特別研究員)

9/30 付 ・中条裕子 (生体分子システム研究班テクニカルスタッフ)

【新規採用】

10/1 付 ・王勇 (生体ネットワークチーム産総研特別研究員)

## 成果紹介

【ソフトウェア】

Workflow  
統合DB情報基盤サイト



<http://togo.cbrc.jp/>

CBRCニューズレター第33号 (2010年10月1日発行)

禁無断転載

【編集発行】

技術を社会へ  
Integration for Innovation



独立行政法人  
産業技術総合研究所

生命情報工学研究センター

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-7 産総研臨海副都心センター別館 バイオ・IT融合研究棟

TEL:03-3599-8080 (代表) FAX:03-3599-8081

E-MAIL:cbrc2-pr@m.aist.go.jp

<http://www.cbrc.jp/>